

## 第2回「エコシティたかつ」推進会議 摘録（案）

日 時：2009年12月14日（月） 13:05～15:10

場 所：高津区役所 第1会議室

出席者：横山滋副委員長／住田委員／吉田委員／横山登委員／伊中委員／川辺委員  
若杉委員／三島委員／井坂委員／秋元委員／坂本委員  
五十嵐／新井勇／柿崎／星／中村／亀山／加藤（事務局）  
梶谷（コンサルタント） 竹内／治村／岩野（地域環境サポーター）

### 1. 開会

資料確認を行った。

### 2. 前回会議の振り返り

摘録（資料1）に沿って、前回会議で検討した内容や意見について振り返った。

### 3. 12のプロジェクトの進捗報告と今後の展開について

横山滋副委員長進行のもと、12のプロジェクトの進捗状況や今後の予定、企画案について、資料2、3を参照しながら、各委員や事務局より報告、提案を行った。また、各プロジェクトの担当委員について検討した。以下、主な内容を記す。

<12のプロジェクト>

#### 地図による地域環境資源の共有化の促進

・でこぼこワークショップを、「高津学」の一環で1/23に開催予定。岸先生を講師にお招きする。「高津学」～知る・見る・歩く～は、まちづくり協議会主催で11月から開始したのだが、緑や水をテーマにしたものも多いので、是非、「エコシティたかつ」推進会議委員の皆さんと一緒に進めたい。

・市民参加型ヒートアイランド調査（首都大学東京饗庭准教授ゼミ等と連携）を8/10、9/4に実施し、10/15に調査結果の振り返りを行った。冬季調査を、1/15の早朝と昼間に予定している。関心のある委員の方は、是非参加して欲しい。

#### 学校流域プロジェクト

・5月から9月にかけて、市立の小学校15校へビオトープ整備に関するアンケート調査、及び調整を行った。それに基づき、2009年度は、久本小学校、梶ヶ谷小学校の整備を進めており、また2008年度に整備した久地小学校、西梶ヶ谷小学校について環境学習の支援を行っている。NPO法人鶴見川流域ネットワークと協働で行っている。

・10/16に西梶ヶ谷小学校の環境学習の一環として、多摩川流域を感じることを目的に多

摩川河口の干潟探索を行った。地元市民が運営する大師河原干潟館に協力してもらった。

#### 緑のカーテン事業の展開

- ・今年48件の応募があり、また、企業（10社）に協賛・協力を得、11/7にコンテストを開催した（150人参加）。最優秀賞の川辺さんの作品が、エコ・プロダクツ展の緑のカーテンブースに展示された。
- ・今年琉球アサガオで緑のカーテン作りに挑戦した。琉球アサガオは、酸性雨にあたると色が変わるため、広域調査の一環として取り組むのもおもしろいと思う。ゴーヤーをはじめ、他の植物の作り方について、自分なりのプロ（市民）がいると思うので、講習会なので報告してもらったら良いと思う。
- ・建設センターで使用した竹炭は、市民健康の森が協力して作ったもので、緑のカーテンも立派にでき良かった。

#### 雨水利用の促進

- ・雨水タンクのモニターを募集し、7件応募があり、溝口と蟹ヶ谷の住宅、溝口第2町会の3件に決まった。「エコシティたかつ」のHPにブログを開設し、情報発信したい。2010年度は、公共施設に設置したいと考えている。
- ・溝口第2町会では、花いっぱい運動を進めており、プランターの水供給用として使う予定である。件数を増やすことが出来ると良いのだが。

#### エコシティホール化の推進 再生可能エネルギーの利用促進

- ・3月に区役所庁舎屋上に太陽光パネルを設置するよう調整中である。1階ホールに発電内容が分かるパネルを置く予定である。
- ・区内住宅等における太陽光パネルの設置数は分かるものなのか？
- ・川崎市環境局が行っている助成応募状況から把握できる程度だと思う。

#### 「まちなか油田プロジェクト」の推進に向けた調査・研究

- ・区内回収ポイントは29ポイントになった（内、2ヶ所は非公開）。区役所や地域子育てセンターなどの油回収率が高い。BDFについては、試験走行、及び研究を行っており、天ぷら油からBDFへつながる仕組みにしたいと考えている。
- ・ミットヨの社員食堂で出た天ぷら油を回収し、きなりっこ（石けん）と交換、厨房の掃除等に使うという仕組みづくりを進めている。当初は11月開始の予定だったが、社内、社員食堂業務委託先との内部調整、及びかわさき石けんプラントとの契約関連の調整を進めている。
- ・区内企業と連携できたことは大変画期的であり、「エコシティたかつ」の取組の成果だと思う。

#### エコ企業調査プロジェクト

・環境に配慮した区内事業所の取組を3件ほど、市民レポーターによる取材を行い、ホームページや報告書概要版で報告したい。関心のある委員の方に、プロジェクトの進め方などアイデアを出してもらい、またレポーターとして協力して欲しい。

・工友会との連携はあるか。

・エコ・エネライフコンクールの参加に呼びかけた。

・ゴミ連でも、my bagに積極的なところや、ゴミ袋の有料化を進めているところなど情報を持っているので、参考にしてもらえればと思う。

・緊急雇用創出基金事業の一環で、「たかつ地域環境学習啓発サポート事業」を11月から開始し、3人のスタッフが、学校流域プロジェクトのビオトープ整備補佐やマニュアル作り、エコシティホール化の維持管理やマニュアル作り、エコ企業調査補佐など行っている(3人を紹介)。

#### 体制づくり

・次回、推進会議で検討したい。

#### エコ・エネライフコンクールの実施

・今年初めての試みとして、区民会議が中心となり実施した。44件の応募があり、10/5に審査会を行い、11/28の区民会議のフォーラムで表彰式を行った。目標設定や広報、審査方法など、今後の進め方、内容について、区民会議で検討している。

#### 橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

・移動販売や地域ブランド商品開発(千年の蜂蜜カステラ)など行っている。

#### 「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進

・溝口緑地の工事を2/21の大山街道フェスタまでに出来るよう進めている。

・KSPを中心とした緑化推進について、周辺の6つの自治会で、各事情に合わせて、地域緑化推進地区としての申請準備を進めている。

#### <担当委員>

前会議の議論をもとに、各プロジェクトの担当を検討した。担当委員は何をすれば良いのかという議論については、「エコシティたかつ」の運動母体についての議論とあわせて、今後検討していくこととした。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ・地図による地域環境資源の共有化の促進 | 伊中委員／若杉委員／岸委員長／田中委員 |
| ・学校流域プロジェクト         | 小林委員／岸委員長           |
| ・エコシティホール化の促進       | 川辺委員                |
| ・緑のカーテン事業の展開        | 川辺委員                |
| ・普及啓発イベントの実施        | 長村委員                |

- ・農的資源を活かしたまちづくりの推進 井坂委員／住田委員／横山登委員
- ・緑と水でつなぐ歴史街道花街道の推進 若杉委員／川辺委員／三島委員
- ・雨水利用の促進 横山副委員長／小林委員
- ・再生可能なエネルギーの利用促進 鈴木委員／若杉委員
- ・まちなか油田プロジェクト 伊中委員
- ・エコ企業調査プロジェクト 横山副委員長／秋元委員／伊中委員／吉田委員
- ・推進のための体制づくり 小島委員／水谷委員

<その他>

・JICA 研修「西バルカン地域の持続可能な地域づくりと環境保全コース川崎研修」の中で、岸先生を講師に招き、「エコシティたかつ」の枠組みや内容、これからの方針について講義を行い、具体的な取組の参加の広げ方についてなど、意見交換を行った。

・大山街道アクションフォーラムへ参加し、溝口緑地の整備事業について検討したが、その後どのような形で進めることになったのか。市民参加で検討した内容に対して、どのような結果になったのか、発信してもらいたい。

・地元町内会の意見を聞きながら、調整を進めた結果、排水整備に力を入れて整備を進めている。

・落ち葉を堆肥化し、ゴーヤー等を育てるための土づくりを市民健康の森でできたらと思っている。小学校のプールを“落ち葉プール”にして遊ぶイベントをしてもおもしろいのでは。

・橘地区のまちづくりは、別の推進会議を中心に動いていると思うが、こちらからアイデアを発信していくという形でよいのか。

・22日に推進会議が予定されているので伝えたい。

・生ゴミリサイクルについては、小さな“循環”といっても誰がどうやってやるのか調整が必要だと思う。事務局を中心に調整を進めて欲しい。

#### 4. 推進フォーラムの企画について

推進フォーラムの企画案について、事務局より説明を行った。2月27日（土）に高津区役所で、「たちばな農のあるまちづくり」推進会議と合同で実施予定。タイトルや企画案について、今週中に、アイデアを寄せてもらうこととした。

#### 5. 会議のまとめ

各プロジェクトの推進について、担当委員と事務局が連携しながら進めていく。

#### 6. 次回の会議日程など

今回は、2/27のフォーラム後の3月上旬に行いたい。日程は追って事務局から連絡する。  
以上